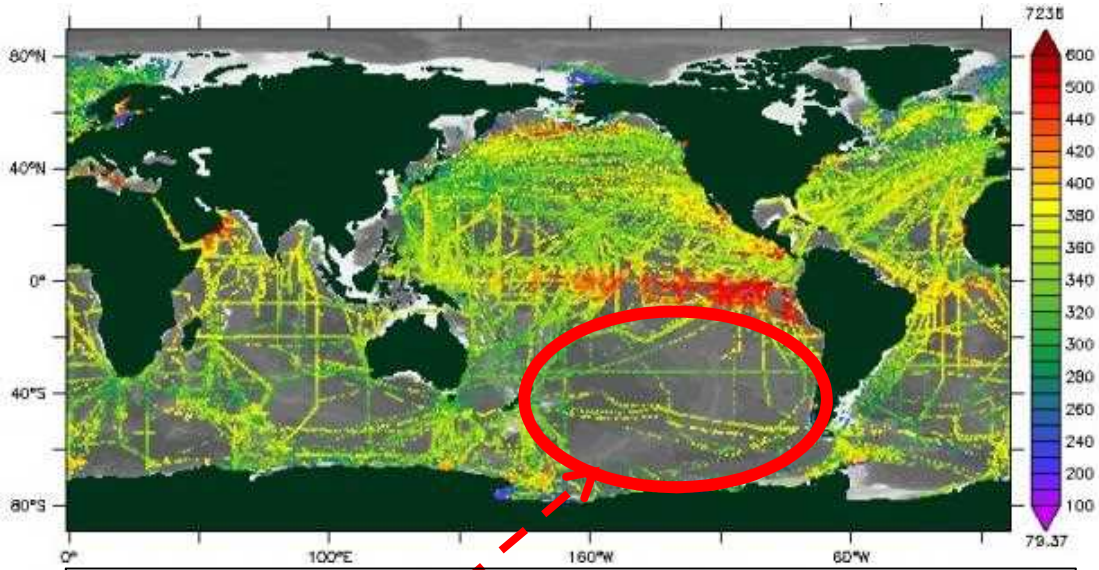
漂流ブイによる海洋表層CO2分圧の中長期モニタリング観測
ーデータ空白域の解消を目指してー



1968年から2011年までに全球海洋で観測されたCO2分圧データ。南太平洋域に特に大きなデータ空白域がある。

漂流型CO2センサー本体

漂流型CO2センサー投入の様子

過去約40年間のCO2分圧の観測でも、データ空白域がある！

観測船や民間の観測協力船では、観測が困難。
（海洋観測先進国から遠いことや、定期航路から外れていること等による）

漂流型CO2センサーの投入で、データ空白域を解消する。

漂流型CO2センサーには、季節や海域の制約が無い。
（数値実験で漂流を予測し、確実に目的とする海域に到達するように投入する）

- CO2吸収量の推定の信頼性の向上
- 地球温暖化や海洋酸性化の予測精度向上に貢献
- 中長期自動観測システムの開発及び実用化（科学技術イノベーション2015に記載されている目標に対応）